

press release

## 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 特別展のお知らせ

日ごろよりお世話になりありがとうございます。

湯浅八郎記念館では、新春 1 月 12 日より、以下のとおり展覧会を開催いたします。

ご案内にお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。

### 特別展「日本の文様 10 意匠を読む」

#### Japanese Design 10: Patterns and Meanings

当館で 1986 年より続けているシリーズ企画「日本の文様」展の第 10 回として、収蔵資料の中から伝統的な意匠にまつわる由来や意味を紹介いたします。

おめでたい文様としておなじみの松竹梅や鶴亀。でも、これらがなぜ吉祥をあらわすのか、そのいわれを知らない人も多いのではないのでしょうか。どうして決まって、獅子は牡丹と、鳳凰は桐と、雀は竹とともに描かれるのでしょうか。赤ん坊のおしめに染め抜かれた碓、武具に見られる蜻蛉や、重箱にあしらわれた栗鼠と葡萄の組み合わせ、皿に描かれた大根や蝙蝠——現代では不思議に感じるモチーフも、元来は広く知られた図柄でした。人々は伝承や説話を下敷きに、長寿や繁栄の願いを四季折々の豊かな自然風物に託して、多彩な意匠の世界をうみだしてきました。

また江戸時代には、歌舞伎の人気にあやかった役者文様や、洒落と教養をはたらかせて解読する判じ絵、諷刺画が流行し、文様はそこに隠された謎を解く知的遊びとしても展開しました。

生活の愛用品にほどこされた意匠は、単なる装飾にとどまらず、背後にさまざまな思いや願いが込められています。招福を身近な動植物になぞらえた図柄から、遊び心あふれる語呂合わせや判じ物まで、その意味を読み解きながら、かつての日本の生活風俗や人々の意識を知る手がかりとなる展覧会になればと考えています。

**展覧会名：**特別展「日本の文様 10 意匠を読む」

Japanese Design 10: Patterns and Meanings

**会場：**湯浅八郎記念館 2 階 特別展示室

**会期：**2016 年 1 月 12 日（火）～3 月 11 日（金）

**開館時間：**火～金曜日 10：00～17：00／土曜日 10：00～16：30

**休館日：**日曜、月曜、祝日、2 月 5 日（金）、2 月 6 日（土）、3 月 5 日（土）

**入館料：**無料

**展示資料：**約 140 点

染織 (夜具地、袷紗、風呂敷、馬腹掛、子ども着物、子負帯、襖褌、産湯布、袴纏等)

漆芸 (重箱、提重、高杯、行器)

陶磁 (染付皿、石皿、盃台、印判小皿)

金工 (鏡、鐔)

木工 (菓子木型、櫛、横木)

紙 (染型紙、浮世絵)

**交通：**JR 中央線三鷹駅および武蔵境駅より小田急バス「国際基督教大学行」終点下車  
または武蔵境駅南口よりタクシー10分

**関連イベント：**第97回公開講座「江戸の町人文化と文様歳時記」

講師 熊谷博人氏 (装幀家)

日時 2016年1月30日(土) 14:00~15:30

会場 湯浅八郎記念館エントランスホール

聴講無料・予約制

**お問い合わせ等**は以下までお願いいたします。

国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館 (担当 具嶋恵 ぐしまめぐみ)

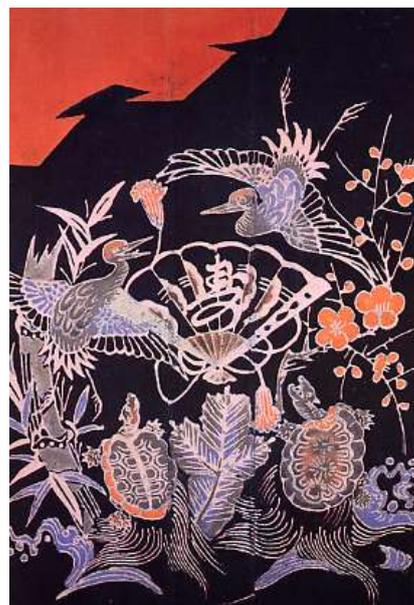
〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

TEL:0422-33-3340 FAX:0422-33-3485 E-mail:gmegumi@icu.ac.jp

なお、**12月23日から1月5日は大学の一斉休暇期間**となりますので、ご連絡は**12月22日まで、または1月6日以降**をお願いいたします。



● 提重 葡萄に栗鼠文 (黒漆・蒔絵)



● 産湯布 鶴亀松竹梅文 (木綿・筒描)

画像データ (カラー) をご入用の場合は、ご遠慮なくお申し付けください。